

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第183号
令和3年7月31日



観光列車「志国土佐 時代(とき)の夜明けのものがたり」をお手振りと横断幕でおもてなし

行政報告	2 ~ 4P
審議したこと・決まったこと	5 ~ 6P
第2回臨時会	7 ~ 8P
委員会活動	9 ~ 11P
一般質問に7氏が立つ	12 ~ 18P
議会日誌	19P
編集後記	20P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

新型コロナウイルス ワクチン接種

日高村でのワクチンの接種が5月10日から65歳以上の基礎疾患がある方を中心に始めた。

第1回の接種済者は975人、次回は7月7日から始め、7月中の接種完了を目指している。

64歳以下60歳の方の接種は7月14日、15日で調整中である。60歳未満の方も早期に希望者全員が接種できるように関係機関と調整を図っていく。



新型コロナウイルスワクチン 集団接種が始まった

村の駅ひだかについて

令和2年度、村の駅ひだかの直販所売上総額は、2億1千363万8千円(前年比100・7%)、レジを通過した来客数は18万642人(前年比94・2%)、客単価が増加している。

今年度、第2駐車場東側

の土地を借り駐車場場の拡張を行い、大型バスが駐車できるように整備を進めている。

オムライス街道 45万食突破

オムライス街道7年目の令和2年度のオムライス販売数は4万8千393食、ナポリタン販売数は1千934食、総販売数は約5万1千食、7年間の総販売数は45万食(オムライス、ナポリタン総数)を突破した。

第8弾オムライス 街道スタート

街道スタート

8周年を迎えるオムライス街道事業は、例年どおり6月12日よりスタートし、JR四国観光列車「志国土佐 時代(とき)の夜明けのものごと」とのコラボ企画で、観光列車の1周年にあたる7月4日にイベントを予定している。スタンプリーは、9店舗のうち4店舗が新メニューを発表した。

日下川 新規放水路を活用

日下川新規放水路のトンネルを活用した「日高村のインフラツーリズム魅力倍增プロジェクト」は、斜坑口の活用方法を検討する「トンネル部会」と、ツアーなどの内容を検討する「観光部会」の2つの部会で話し合い内容を現地協議会で共有し進めている。

ファムツアー(有識者招待ツアー)は、これまでに2回計画したが、新型コロナウイルスの影響を受けて延期となり、7月の実施に向けて準備を進めている。



第8弾オムライス街道 ~オムライスの旅へ出発進行~

今後「観光部会」は、月に1回程度の会を開き、8月頃をめどに、インフラツーリズムの基本計画や来年度予算に向けて検討を行っていく。

シニア応援券を配布

新型コロナウイルス感染症に関する支援策として、65歳以上となる2千179人にシニア応援券を贈る。

重症化リスクの高い高齢者の感染予防対策等への支援、また村内の消費拡大につながるばと考えている。

シニア応援券は、5月25日から配布し、使用期限は6月1日から11月30日まで、利用できる事業所は現在54事業所である。

図書館で

ミニコンサート

5月9日、日高村立図書館ほしのおかに設置したピアノを使用し、「ミニコンサート〜本と音楽の森〜」を開催した。

子どもから大人まで楽し

めるBGM風のピアノの演奏が流れ、来館者は、館内やエントランス、テラス、多目的ホールで思い思いにピアノの音色を楽しまれた。

流域治水対策

について

3月23日、仁淀川水系流域治水協議会が開催され、仁淀川水系における流域治水プロジェクトが公表された。「どんな洪水が発生しても犠牲者ゼロを目指す」

という目標設定のもと、仁淀川本川の想定最大規模洪水に対して、「氾濫を減らす」「備えて住む」「安全に逃げる」の3つの方策を相互に補完することで、「命の危険がある場所・建物に住む人」をできるだけ減らし、「解消しきれない」「命の危険がある人」には、「安全な避難場所・避難路」を確保することなどが示された。



ミニコンサート〜本と音楽の森〜
in 図書館ほしのおか

り、その流域では本川が氾濫する前に、すでに支川が氾濫し避難できなくなる可能性がある仁淀川水系独自の地理的条件があるため、それぞれ支川流域も「氾濫を減らす」「備えて住む」「安全に逃げる」という取り組みが必要であることが、仁淀川水系の流域プロジェクトの特徴である。

本年度には引き続き内容を具体化し、仁淀川本川の対策に合わせて、地域別の部会を設定し、支川の流域治水対策について協議することとした。

「手づくり郷土賞」

認定証授与式

4月21日に「NPO法人グラウンドワークひだかむら



NPO法人グラウンドワークひだかむら
「手づくり郷土賞」受賞

ら」に対して、国土交通省主催で「手づくり郷土賞」の認定証授与式が行われた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各関係機関とリモートで行った。

中野代表からは、「水との闘いを乗り越え、水と親しむ活動をしてきた。日下川新規放水路完成を機に、さらなる安心安全、そして豊かな地域になれるよう、受賞にふさわしい活動を今後も続けたい」と、決意を新たに謝辞が述べられた。

国勢調査速報結果

県の国勢調査速報結果の報道によると、県全体が人口減少となった。

日高村は6月1日現在で213人の減で4千817人と5千人を割り込んだ。

前回調査（平成22年調査）では417人の減であったが、今回は213人の減にとどまった。

日本郵便株式会社と包括連携協定を締結

3月25日、日本郵便（株）と包括連携協定を締結した。内容は、



日本郵便（株）と包括連携協定を締結

1. 安全安心な暮らしの実現（見守り等）

2. 地域経済の活性化に関すること（販路拡大等）

3. 子どもたちの育成に関すること

4. 観光情報のPRなど

5. 地方創生や住民サービスに関すること

住民の日常生活に密着した郵便局の機能を活用した新たな取り組みに期待をする。

マイナンバーカード交付状況

マイナンバーカードの交付状況等は、5月31日時点の申請数は1千726件、1月

1日時点の人口の34・4%となっている。

実際に交付されたマイナンバーカード数は、1千370件で、その交付率は27・3%となっている。

月1回の日曜日の受付交付窓口業務は継続し、既に利用可能な環境の活用など、役場内部における利用環境の整備や、住民が利用しやすいマイナンバーカードとなるよう取り組みを進め、交付率及び普及率の向上に努めたい。



住民のスマートフォン普及率100%を目指す

ミライエ グランドオープン

能津地区集落活動センター（ミライエ）が4月4日にグランドオープンを迎え、地域住民をはじめ、多くのご来賓の方々、関係機関等参加のもと、式典が開催された。

ミライエを拠点として地域の振興に取り組みられる「一般社団法人能津未来」の皆さまのますますのご活躍をご祈念申し上げます。



丁寧にスマホ利用をサポートするau代理店（サンシャイン日高内）

村まるごと デジタル化事業

5月24日付で（株）チェンジ（本社東京都）及びKDDI（株）との間に「住民のスマートフォン普及率100%を目指す」連携協定を締結した。

村民の健康増進や防災（減災）意識の高揚、世代を問わないコミュニケーションの醸成などを目的に取り組むものである。

さらなる普及と利用率の向上を目指し、有用性の分かりやすい丁寧な説明を協定事業者とともに尽くし、事業推進に取り組んでいく。

審議したこと

令和3年第2回定例会

決まったこと

R3.6.10~6.17

6月議会では、同意(人事)10件、条例関係4件、予算関係3件の計17件が決まった。

第2回定例会議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	西川龍子	野村重夫	森下雅文	尾崎政廣	池田雄	戸梶章	議決結果
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 固定資産評価審査委員に森本俊一氏を選任することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に竹田芳則氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に岩井俊一氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に壬生豊秀氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に大和田博光氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に中山美佳氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に藤原利彦氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に北添孝裕氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に濱田善久氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員に朝山正敏氏を任命することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 行政手続きの簡素化を図り、村民の負担を軽減するための押印等の見直しによる改正。施行期日は公布の日。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村火入れに関する条例の一部を改正する条例 行政手続きの簡素化を図り、村民の負担を軽減するための押印等の見直しによる改正。施行期日は公布の日。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村総合運動公園設置及び管理条例の一部を改正する条例 行政手続きの簡素化を図り、村民の負担を軽減するための押印等の見直しによる改正。施行期日は公布の日。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村介護保険条例の一部を改正する条例 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した第1号被保険者を、令和3年度も引き続き介護保険料の減免により負担軽減を図るもの。施行期日は公布の日。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
令和3年度日高村一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,863万9千円を追加するもの。主なものは、宮ノ谷集会所建替事業・子育て世代生活支援特別給付金事業・村道長畑鴨地線土砂崩れ現地調査、測量設計費。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
令和3年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第2号) 歳出予算の組み替えを行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
令和3年度日高村一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,320万円を追加するもの。主なものは、村道長畑鴨地線災害復旧工事請負費。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決

審議したこと

決まったこと

第2回定例会

人事

◎固定資産評価審査委員会委員に森本俊一氏を選任することに同意した。



森本俊一氏

住所 日高村沖名
任期 令和3年6月25日から令和6年6月24日まで

◎日高村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

質疑

問 女性委員を増やすべきであるが状況は。

答 調整をしたが、新たな女性委員は見つけること

ができなかった。女性委員を増やすことは課題であり、他の委員を含め、女性委員を増やす取り組みを続けていく。

◎令和3年度日高村一般会計補正予算（第3号）

問 修学旅行三密対策支援事業の補助金1万4千円の対象は。

答 日下小学校が合宿に行く予定で、コロナ対策で中型バスを大型バスに変更することに伴い増額補正する。

問 ライセンス使用料の内容は。

答 県の教育ネットを使用し、有害サイト等の対策をしていたが、1人1台のタブレット使用によって、村で対策することになった。

農業委員会委員に9人が決まった

任期

令和3年7月30日から令和6年7月29日まで



壬生豊秀氏
(鴨地)



岩井俊一氏
(沖名)



竹田芳則氏
(沖名)



藤原利彦氏
(岩目地)



中山美佳氏
(本郷)



大和田博光氏
(本郷)



朝山正敏氏
(本郷)



濱田善久氏
(下分)



北添孝裕氏
(岩目地)

第2回臨時会

4月26日第2回臨時会が開催され、報告3件、同意1件、承認8件、議案3件が可決された。

◎令和2年度日高村一般会計予算繰越明許費繰越計算書

問 多くが繰越明許となっているが、期限内に執行できる見通しか。
答 令和3年度中には、すべて完了できるめどのもと繰越明許した。

◎専決処分承認を求めることについて(令和3年度日高村一般会計補正予算(第1号))

問 商工費の運動公園へのイルミネーションは、広く宣伝や広報する予定か。

答 めだかさん家の改修に合わせて、イルミネーションを行う。6月広報で発したいと考えている。

問 図書館の新規図書購入は、基準を持っているか。
答 オーテピアや近隣の図書司書とやり取りしながら、現在流行っているものや全国的なもの、冊子も見ながら購入している。

問 読書通帳は図書カードを持たなくても、この通帳があればいいか。
答 図書カードを持たなくても通帳を発行することにより、その通帳に借りた本の名前が記録される。

問 シニア応援券は、どのような店で使えるか。

また店は、申請をどんなふうにしたらいいか。

答 使える店は、プレミアム付応援券が使えた店を想定している。

使用できる店の申請もプレミアム付応援券と同じように申請書を役場に提出し、許可書を発行する予定である。

問 学校関連施設安全安心確保事業でのオゾン発生装置の整備は、いくらの発生装置を、どこに設置するのか。
答 1台税込み27万5千円の機械で、これを25台購入したい。

日下小学校の各教室、特別支援学級、保健室に計11台、能津小学校も各教室と特別支援学級、保



オゾン発生装置を設置した図書館ほしのおか



JR土讃線下 拡幅する予定の暗渠(岡端)

健室で計6台、日高中学校も各教室と特別支援学級、保健室で計7台、図書館に1台で、計25台を設置したい。

◎土讃線日下・岡花間145K 137m排水路改築工事に係る施行協定及び2021年度協定の締結について

問 金額の算出根拠は説明を受けているか。
答 工事を計画するにあたり、JR四国と事前協議をしている。

◎日高村新庁舎備品導入業務の請負契約について

問 設計金額が1億2千500万円、設計金額が7千500万円

万円、随分違うが理由を。
答 入札では理由は求めていない。入札結果の1番安価な所と契約をした。

問 3者のうち、最高金額は。
答 税込み8千129万円である。

問 安すぎないか。
答 仕様書に基づいた購入でしっかり検査していく。

◎日高村新庁舎議場家具導入業務の請負契約について

問 参加業者は、森林組合3者であるが、県産材を使うためのなのか。
答 県産材を使用して作った机、答弁台等になりたいというので、森林組合3者の見積入札にした。

審議したこと

決まったこと

第2回臨時会

第2回臨時会議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案	議員名										議決結果
	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	西川龍子	野村重夫	森下雅文	尾崎政廣	池田雄	戸梶章	
固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて 固定資産評価員に今井明秀氏を選任することに、同意を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
村税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて 令和3年度の評価替えに伴う土地に係る固定資産税の負担調整措置継続等の条例改正。施行期日は令和3年4月1日。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和2年度日高村一般会計補正予算(第11号)) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ387万4千円を追加するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和2年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第5号)) 歳入歳出予算の総額からそれぞれ50万円を減額するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和2年度日高村住宅新築資金等特別会計補正予算(第4号)) 歳入歳出予算の総額からそれぞれ106万7千円を減額するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和2年度日高村介護保険特別会計補正予算(第5号)) 歳入歳出予算の総額からそれぞれ88万7千円を減額するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和3年度日高村一般会計補正予算(第1号)) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ6,254万2千円を追加するもの。主なものは、シニア応援券事業・道路台帳電子化事業・図書館パワーアップ事業(図書購入・読書通帳システム改修)・コンビニ収納事業。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和3年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第1号)) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ66万3千円を追加するもの。コンビニ収納事業。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
専決処分の承認を求めることについて (令和3年度日高村一般会計補正予算(第2号)) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ740万円を追加するもの。運動公園照明設備改修事業。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
土讃線日下・岡花間145k137m排水路改築工事に係る施行協定及び2021年度協定の締結について 場所：日高村本郷(岡端地区排水路) 相手方：四国旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 西牧世博 締結予定日：2021年4月30日 協定金額：2021年度～2022年度総事業費1億9,613万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村新庁舎備品導入業務の購入契約について 相手方：株式会社オフィスパートナー 代表取締役 田村勝介 契約金額：7,579万円 納期：令和3年9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決
日高村新庁舎議場家具導入業務の購入契約について 相手方：四万十町森林組合 代表理事組合長 田村耕一 契約金額：930万5,725円 納期：令和3年9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決

審議したこと
決まったこと

第2回臨時会

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 藤原利彦

6月1日(火)午後10時
より

松岡総務課長より

4月26日に高知県消防大会が開催され、6人の消防団員と廣井冨子氏が表彰された。

今議会への提案は人事案件10件、条例改正4件、補正予算2件の報告があった。

村有財産の払い下げと、私有財産と村有財産の交換について審議した結果行うこととした。

山崎企画課長より

光輝く子育て応援金、日高村補助事業、新婚さんの生活応援の3件の補助事業を募集している。

日高村本郷と岩目地の村有地2件の払い下げで一般競争入札を行ったが、応札はなかった。

4月4日、集落活動センターミライエのグラウンドオープンを開催した。

今井住民課長より

マイナンバーカードの交付実績は4月30日時点で1千672件、申請率は33・3%となっている。マイナンバーの終了や、利用環境の整備などが整っておらず、今後の申請数の低下が懸念される。

住民税等申告は、2月16日から4月15日までの期間で実施し、地区ごとの優先申告受付は10日間で707件あった。

森下教育次長より

村内の各小中学校の児童生徒数は、日下小118人で新1年生が19人、能津小18人で新1年生が2人、日高中61人で新1年生が24人となっている。村の児童生徒が時おり高知新聞に掲載されている。

日高村立図書館で5月9日にピアノコンサートを開いた。

経済建設厚生 常任委員会



委員長 西川龍子

6月2日(水)午前10時
より

谷脇健康福祉課長より

1. 新型コロナウイルスワクチンの集団接種の状況。
2. 村の総合健診を5月19日より、5地区にわけて実施。527人が特定健診を受け、前年より増加した。
3. 今議会に提案予定の条例改正と補正予算について報告を受けた。

藤岡産業環境課長より

1. 村の駅ひだかの販売状況と今年度は大型バス対応のため、駐車場の拡幅整備を予定。
2. オムライス街道の販売状況と8周年となる今年は初となるJR観光列車運行1周年の7月4日にコラボイベントを行う。
3. 再生エネルギー導入目標策定事業。
4. インフラツーリズムへの取り組み状況について。
5. 新型コロナウイルス感染症の支援策を65歳以上の2千179人にシニア応援券を配布。



村の駅ひだか駐車場拡幅予定地

- 6. 戸梶川の魚類斃死（へいし）事故について。
- 7. 今議会提案予定の人事案件と条例改正、補正予算の報告を受けた。

前田建設課長より

- 1. 第5回仁淀川流域治水協議会。
- 2. NPO法人グラウンドワークひだかむらが「手づくり郷土賞」を受賞し、4月21日認定証授与式を行った。
- 3. 5月15日、日下川改修期成同盟会会議の開催と現地視察を行った。

- 4. 村発注工事等の状況について
- ①土木係 繰越事業8件、令和3年度事業2件、治水事業の繰越事業2件と令和3年度事業1件
- ②水道係 2件
- 5. その他の工事では、国工事分、県工事について



村道繁谷平野線他1路線道路改良工事 御鉢踏切付近

- 説明があった。
- 6. 今議会に提案予定の補正予算の報告。
- 7. 能津地区の谷口の手前付近の村道に土砂崩れと大木が覆いかぶさって、高圧電線にもかぶさっている状況であり、専門的調査後に対策の方針を決定する方向で、現在通行止めになっている。委員よりさまざま要望を行い閉会した。

日高村振興対策 特別委員会



委員長 池田 雄

6月1日（火）午後1時30分より

山崎企画課長より

能津地区集落活動センター「ミライエ」のグラウンドオープンが一般社団法人能津未来、能津地区住民、各種団体、濱田高知県知事、山本衆議院議員、大野県議会議員、日高村議会、日高村、県関係者他、約100人の参加を得て開催されたことの報告があった。

前田建設課長より

県道庄田伊野線の改良について、改良事業14カ所のうち7カ所が供用済み、1カ所が事業中、用地等に課題があり、事業に着手でき

ていない箇所が6カ所である。この6カ所について、県は「日高村関係者と協議しながら事業化に向けて継続的に対応していきたい」としている。

能津地区地域優良賃貸住

宅整備事業は、用地取得の協議が進み、めどがついたこと、PFI事業は6月11日にWebで事業者説明会を予定していることの報告があった。



「ミライエ」オープン



バギー体験で自然を満喫

日高村治水対策 特別委員会



委員長 尾崎政廣

6月1日(火) 午後3時
より

西村治水対策室長より

1. 前回委員会以降の取り組み状況

①日高村水害に強いまちづくり条例を3月4日上程し採択された。

②田福自治会日下川新規放水路工事現場見学会を4月10日に実施し、田福自治会23人の参加があった。

③令和2年度第35回手づくり郷土賞授与式が4月21日に日高村社会福祉センターで開催し、NPO法人グラウンドワークひだかむらが受賞した。



日下川改修期成同盟会会議(上段)・現地視察(下段)

④令和3年度日下川改修期成同盟会会議を5月15日に日高村社会福祉センターで開催した。日下川新規放水路工事を現地視察し、床上事業等の状況報告、意見交換会を行った。

2. 床上浸水対策特別緊急事業 工事進捗状況

- ①国事業 呑口側・吐口側導水路工事
- ②県事業 河川改修、残土処分場状況
- ③村事業他 馬越南地区周囲堤工事、工損事後調査、日高村水害に強いまちづくり条例

②緊急自然災害防止対策事業(日高村)

- ・竜石地区排水ポンプ設置工事
- ・土讃線日下・岡花間145K137m排水路改築工事
- ③緊急浚渫推進事業(日高村)
- ・父原谷川土砂浚渫工事

③3月から延期となつて、戸梶村長が事例発表する予定である。

④6月7日、高知県内各団体共同要望をWebにて国土交通省(水管理・国土保全局井上局長、山田技監)財務相主計局(公共担当)に行う。

⑤6月28日、仁淀川改修期成同盟会要望活動を国土交通省・国会議員・総務省・財務省・内閣府にWeb要望を行う。

一般質問に7氏が立つ



野村重夫議員

通学路の安全を

質問 九頭地区から小学生が5人(ピカピカの1年生を含む)、高校生2人が、信号機のない国道の横断歩道を渡っている。

この時間帯が通勤車両も多く、車の速度も速い。特に佐川方面から来る車が、児童・生徒の渡る位置が見えにくいとの声がある。

子どもが、安全に通学できるように、手押しの信号機を設置してもらいたい。

答弁 戸梶村長

この場所は、昔から出にくい。道路改良については、新しい団地もできたので、関係機関と話し合っていきたい。

信号機設置は、地元からも要請があり、どれだけ利用があるか、公安委員が調査し、判断するので、要請していきたい。ハードルは高いと考える。



九頭地区から国道に出にくい村道

質問 九頭の団地から子どもたちが通学するには、まっすぐ北進村道がある。田の中の村道を渡る

ときに水路が深く、非常に危険である。「水路危険」など看板設置をしてもらいたい。

答弁 前田建設課長

指摘の村道山ノ下観音堂線、田んぼの中の道は、途中退避する場所とか、子どもたちが逃げる場所がなく、非常に危険である。水路に転落の危険性はあると感じている。

看板設置とか、交通量が多いので、学校関係者や地域の人たちと協議をして対策を進めたい。

後期高齢者医療費窓口負担2倍化法案

質問 後期高齢者の窓口負担が1割から2割になった。政府は受診抑制で国・自治体の公費1千140億円の社会保障費削減を推進している。

このコロナ禍で多くの高齢者の健康・命・暮らしが危険にさらされている中で、追い討ちをかけるようなものだと思うが。

答弁 藤田副村長

2022年度から団塊の世代が75歳以上になり始め、医療費の急増が見込まれることから、国が一定以上の所得がある後期高齢者の医療費の窓口負担を2割にするものとして理解しており、たまたま今のコロナ禍と時期が重なったと認識している。

質問 日高村の2割負担になる対象者は(年収200万円以上、夫婦320万円以上)何人か。

答弁 今井住民課長

後期高齢者医療にかかるとの被保険者数は、村全体

で1千140人、そのうち132人(11.6%)が対象となる。

質問 この法案に国民健康保険の都道府県運営方針が、法定外繰入の解消、保険料水準の統一を記載している。国保料の値上げを法定化するものではないか。

答弁 今井住民課長

昨年の国保の決算ベースでは影響ない。

権利侵害はやらない

質問 生活保護利用者が、医療扶助を利用する際に、マイナンバーカードにより資格確認を原則とする決まった。医療保険におけるオンライン資格確認は任意である。日高村ではこういう権利侵害はやらないことを、この議会で宣言してもらいたい。

答弁 藤田副村長

利用者の利便性を高めるので、権利侵害ではないと理解している。権利侵害はやらない。

ワクチン接種について



池田 雄議員

質問 ワクチン接種における村民の疑問点について。

答弁 谷脇健康福祉課長 3月の希望調査の際に、同封した用紙に注意事項として、村に供給されるワクチン量により集団接種時に接種できない場合があること、希望調査表にある基礎疾患情報を基に優先接種を検討し決定する旨を知らせていたが、住民からは、なぜ接種ができないのかという苦情が多く寄せられた。

質問 第1回の接種者は975人ということであるが、ワクチンによる副反応は。

答弁 谷脇健康福祉課長 接種後に発疹が出た方が、日高クリニックを受診している。その他の方は、救護室でバイタルチェックを行い、副反応を診る医師の診察を受けている。このような方が1回目と2回目の接種において9件あった。

質問 今後の接種計画は。

答弁 谷脇健康福祉課長 日高村として、9月末までに終了させる計画である。15歳から12歳までの接種は、接種希望の有無を保護者と本人に調査を行い、接種方法も含めて検討している。

消防道と川の整備

質問 屋形船仁淀川の船の進入路を消防道として整備できないか。

答弁 藤田副村長 水難事故等の発生時に、消防の船舶等を下ろす場所が、ほとんどない状況のため、整備することとは必要である。可能性はある。

仁淀川のテトラポットについて

質問 屋形船乗船場上流のテトラポットが移動している。その対策は。

答弁 藤田副村長 高知県中央西土木事務所が現地を確認し、今後の対策を検討している。

JA能津事業所の給油所

質問 JA能津事業所の給油所について。

答弁 藤田副村長 廃止という結論を想定して、給油所存続に必要な

な情報を集めている。運営体制を含めた検討を早期に行う。

地域優良賃貸住宅

質問 能津地区地域優良賃貸住宅について。

答弁 前田建設課長 用地については、6月中に契約を進める。PFI方式については、6月11日にWeb形式にて事業者説明会を実施した。

西バイパス延伸

について

質問 西バイパス延伸について、村長が行動を起こす時期は。

答弁 戸梶村長 7月か、8月に数字的なものも含めて一定の要請書を持参し、いの町との町議会を訪問しようと考えている。



崩落地上流から撮影(鴨地)

鴨地谷口の山崩れについて

質問 鴨地谷口の山崩れ復旧工事について。

答弁 前田建設課長 復旧完了は年度内になる。応急工事による対応が可能か、県と協議をしている。

その他の質問事項

- ワクチンの管理体制と、キャンペーン対策
- 能津分団東部について
- 能津地区空き家対策事業
- オゾン発生機の設置状況
- シニア応援券他

新電力高知ニューエナジーについて



藤原利彦議員

質問 改正地球温暖化対策推進法ができ、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すという。高知ニューエナジーの今後の経営計画を聞く。

答弁 藤岡産業環境課長

村には地域還流型の太陽光発電をはじめ、さまざまな太陽光発電施設がある。公共施設や耕作放棄地等への太陽光発電施設を設置し、自前電源の確保、環境補助金を活用し、災害時にも電力確保ができる地域づくりに取り組む。
また、将来的には太陽光と蓄電池を組み合わせた事業なども検討している。

質問 新電力会社を立ち上げている以上、全国へ向けて、脱炭素宣言を出してはどうか。

答弁 藤岡産業環境課長

本年度に、再生エネルギー導入計画策定のための補助金の活用を予定している。その計画に基づき、具体的な脱炭素宣言を出したいと考えている。

農業と脱炭素社会

質問 農水省では、2050年までに目指す姿として、緑の食糧システム戦略での農業の環境負荷低減に向けた数値目標の達成を目指すとしたが、どのように感じているか。

答弁 藤岡産業環境課長

世界的に脱炭素への流れが加速している。示されている目標を達成できるように検討し、取り組んでいくことが必要だと感じている。



脱炭素社会へ向かって期待される太陽光発電施設

しかし、現在の農業が置かれている状況を前提とすると、二酸化炭素排出量実質0化や有機農業の面積を全農地の25%まで拡大などの目標は難しいものと考えている。

今後カーボンニュートラル対応の補助事業や補助金拡充などが予定されているので、対象となるよう準備を進める考えである。

質問 農水省は、荒廃農地への営農型太陽光発電の設置基準の緩和や非農地判断の迅速化を図るとしたが、主な内容は。

答弁 藤岡産業環境課長

優良農地確保と両立を図るため、荒廃農地に限定したものとなっていて、パネルの下で営農を行う場合、周辺農地の収量と比較して8割以上の収穫が必要だったが、そ



管理できなくなったままの耕作放棄地

れが撤廃された。また、今後農地として活用することが難しいと思われる場合、農業委員会で迅速的に農地台帳から除外することが求められている。

その他の質問事項

- コロナワクチン接種について
- 農業関係の質問5件
- コロナと健康についての質問5件

奨学資金の償還猶予制度を



山中鶴幸議員

質問 新型コロナウイルス禍、経済困難や失業といった予期せぬ事由により、家計が急変、あるいは就職の内定取り消しや、就職先が決まらないといった事由で、奨学資金の償還ができない方がいるのでは。

償還中の方々に調査を行い、対象者に償還猶予措置の制度を設けて支援すべきでは。

答弁 森下教育次長

村の奨学資金を利用して、いる方に、3月の時点で、返還金額や納付金額などの文書を送付し、その中で返還の相談ができることとの周知に努めている。奨学資金の返還の相談があれば対応に努める。

質問 現在相談者はゼロということか。

答弁 森下教育次長
返還猶予の相談は、現在1件あり、猶予している。

村道の早期復旧を

質問 村道長畑鴨地線が5月の大雨により、山側が2度の崩落により通行ができない。

崩落地より上流の谷口地域と越知町の数世帯の方が、生活に支障が出ている。

大雨や台風時には、越知町の片岡沈下橋が水没し、沈下橋の通行ができないまで、陸の孤島となる。復旧工事のスケジュールを聞く。

答弁 前田建設課長

今は、国の災害査定準備を進めている。国の災害査定が8月の第1週に予定、査定後に入札の準備を行い、施工

業者決定が9月頃と思われる。

完了予定は令和4年3月頃になると考える。建設課としても、地元より早期の復旧をと声があり、早く応急工事ができないか、県と協議を進めている。応急工事が認められれば、早期に工事着手ができる。



崩落地下流(下前方面)から撮影

質問 令和4年3月では、罹災されている方々は、長期間不便を強いられるが、できるだけ早く取り組み、早期の復旧を。

県・越知町と3者で協議を行い、国に対して早期の仮設道設置の取り組みをしては。

答弁 前田建設課長

道路の幅員が約3mと狭い区間であり、工事をするにも仮設の防護柵の矢板を建てる大型クレーンなどの進入路確保が困難な場所である。

また、別ルートの仮設道も考えにくく、仮設道による早期通行は、非常に難しい。

応急工事による対応が認められれば、歩行者の通行確保を検討したい。

その他の質問事項

- 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 村の歴史・資料等のデジタル保存について

実効の上がる 条例を



森下芳文議員

質問 条例について、現時点での状況を聞く。

答弁 戸梶村長

国の法律、特定都市河川浸水被害対策法の改正が、4月28日に成立した。都道府県知事が、貯留機能保全区域として指定

し、盛土行為などを行う場合は、都道府県知事に事前の届け出をすること、浸水被害防止区域として指定し、開発行為、建築行為など行う場合は、都道府県知事に事前の許可が必要。日下川を特定地域として組み込む要望をする。

質問 今回制定した条例は、総花的で憲章に近い。憲章は、努力規定で、義務規定ではない。

浸水予想区域にかさ上げをしたら、水かさ上がり、今まで浸水していなかった区域も浸水する。

この事実には歯止めを働けないと実効は上がらない。

市町村長に許認可権を与える方向性が必要ではないか。

答弁 戸梶村長

日下川が特定河川として指定を受ければ、県の指定地域として指定されると、届け出制から、許可制に移行し、実効性が生まれる。

長畑、鴨地線 崩落は想定外か？

質問 今回の崩落場所は、一定予測されていた場所か。想定外なのか。

答弁 前田建設課長 危険な箇所が続いていることは認識していたが、警報級の豪雨がないのに崩落することについては、想定外であった。

質問 今後、村道、県道の定期的なチェック体制が必要ではないか。

答弁 前田建設課長 村道、県道について、道路管理者として、巡回してチェックを怠らないようにする。

インフラ ツーリズム

質問 日高の地の利を生かす、魅力倍増プロジェクトの内容を聞く。

答弁 藤岡産業環境課長 国土交通省、高知県、仁淀ブルー観光協議会、日高村観光協会、日高村商工会等関係機関で構成

された「観光部会」において検討を進めている。その内容を、地元住民の方、有識者も参加する、現地協議会でさらに意見を聞き、よりよい活用をしていく。

神母樋門の 補強を万全に

質問 仁淀川本線補強。日下川改修期成同盟会の中でも言われていたこの件、今まで、仁淀川本線の水圧と、日下川の内水圧で保たれてきた要素があり、新放水路が完成し

た晩には、水圧のバランスが崩れる危険性が危惧される。国交省への働きかけ、万全に取り組みされているか。

答弁 戸梶村長 神母樋門と江尻の堤防については、日下川流域の生命線、完成から34年経過している。神母樋門崩壊での仁淀川本川逆流といった最悪の事態を招かないために、村の国土強靱化計画においても国の重要巡視施設として、維持管理を着実に進めるよう計画に入れている。



日下川流域の生命線
神母樋門

デマンドバス

運行の改善を



森下雅文議員

質問 今の運行システムは、利用しにくいという声がある。
車は小さくても回数を増やすとか、他町村のぐるりんバスのような運行を検討してはどうか。
ＩＴを活用した運行管理システムを導入してはどうか。

答弁 山崎企画課長
利用率向上を念頭に、小型車両による便数の増や運行システムの導入といった課題を検討したい。

新型コロナウイルスの接種について

質問 厚労省は、接種対象を12歳から15歳にも広げたいが、児童・生徒に集団接種を行うか。

答弁 谷脇健康福祉課長
教育委員会と細かく調整しなければならぬ。高齢者の集団接種ではない方法でやっていく。

質問 危機管理上、集団接種に携わる職員や、養護施設や学校・保育園の教職員等への優先接種を検討してはどうか。

答弁 谷脇健康福祉課長
今後、保育園や教職員等への優先接種を検討する。

消防団の処遇改善を

質問 消防庁は、消防団員の処遇改善に向けて、出勤報酬・年額報酬等について、市町村で条例を改正するよう要請している。村はいつまでに実施するか。

答弁 松岡総務課長
県の説明を踏まえ見直して、来年度予算に計上したい。

村営住宅の払い下げを

質問 一戸建てや改良住宅等は、真剣に払い下げを検討するべきではないか。

答弁 前田建設課長
意向調査は直に行いたい。条件が整えば払い下げをしたいが、譲渡金額については、法の定めがある。具体的な金額を示して、入居者の意見を伺いたい。

沈下橋付近にトイレの設置を

質問 名越屋の沈下橋付近には東屋もあり、憩いの場となっているが、トイレがないのが玉に傷だ。

答弁 藤岡産業環境課長
かねてからの課題であり、対岸のいの町と協議し、検討したい。

日下駅トイレの改修を

質問 駅のトイレ部分だけでも、クリーンなものに改修してはどうか。

答弁 山崎企画課長
今後、5カ年度をかけて駅舎改修事業計画の推進を図ることとしており、それに併せて取り組みたい。

村道石田・渋川線の改善を

質問 改良の要望は再三にわたるが、改良の見通しはどうか。

答弁 前田建設課長
住宅が村道に接しており、区間全体の改良は困難だが、緊急車両が入れるように、部分的な改良を検討したい。

その他の質問事項

- 奨学金の返還支援
- 耕作放棄地対策
- デジタル教科書の導入
- 改正災害対策基本法
- 結婚新生活支援事業



道幅が狭い石田渋川線

奨学金 返還支援制度の導入を



西川龍子議員

質問 総務省ルートでの奨学金制度は、補助率100%で、返済への対象要件の緩和を行い、対象者を増やし、地方創生や若者の経済的負担の軽減策として、全

国の自治体を取り組んでいる。

日高村も独自の制度から、国負担100%の奨学金返還支援制度の導入はできないか。

答弁 戸梶村長

村の奨学金について見直しの検討をしている。

この国の制度には、さまざまな条件やいろいろな形があるようで、県内の状況も踏まえ、調べながら、今後実施、また維持等整合性も含めて検討し、できれば現行の貸付制度から返還について軽減が図れる奨学金の制度に、今後変更していくべく検討をしたい。

ヤングケアラーについて

質問 ヤングケアラーが、問題視されている。将来のある中高生であり、早期にこのような状況に気が付き、早々にさまざまな行政サービスにつなげる支援策が重要と思うが、村内の現状と調査や対応策への考えは。
また、相談窓口のSNSへの周知も必要と思うが。

答弁 吉岡教育長

4年くらい前より、教育委員会に事務局を置き、カルテットプロジェクトとして、健康福祉課等と連携し、児童・生徒・子ども・家族も含め、情報共有を行い、その中で早期発見、早期対応に努めている。その中から数件の事例があり、対応しており、現状把握している。

新型コロナウイルス

質問 新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ方々が、職場で解雇されたり、医療機関でも相手にされず、追い詰められるケースが相次いでいる。

長い人では1年近く治療が必要で、日々の生活自体も困難となる。大都市等々では対策は取れても、小さな田舎では情報のみで対策はない。高知県内でも聞かないが、日高村では厳しいので、広域で中央西福祉保健所の協力を得、対応策は取れないか。

答弁 戸梶村長

後遺症については、報道で承知しているが、現在は保健所が対応している。要請があれば、村として最大限の支援をしていく。

質問 ワクチン接種が12歳以上となった現状とスケジュールについて問う。
答弁 谷協健康福祉課長

65歳以上の第1弾の集団、個別接種で1千102人済みで、第2弾は7月7

日から10日に実施予定で希望調査中。64歳から60歳は7月14日、15日で第1回目の接種を行い、第2回目を8月4日、5日を実施。59歳以下は8月中旬以降の土日で9月末までに2回目を終了する予定。

また、15歳から12歳については検討中。それぞれの年代で接種できなかった方については、平日、医療機関で個別接種できるように現在調整中。



新型コロナワクチン集団接種を受ける

特別報告

村道長畑鴨地線

10月中に復旧完了

5月に発生した村道長畑鴨地線の土砂崩れの災害復旧について、池田雄議員、山中鶴幸議員、森下芳文議員の一般質問の答弁後に、県と協議した結果、国の災害査定を前に応急工事を実施し、7月には歩行者の通行を確保し、10月中に復旧完了を目指すことの報告が会期中の6月17日にあった。

議会日誌

13 議会広報発行調査特別委員会
西川・尾崎
森下(芳)・藤原
戸梶議長

17 道路整備促進期成同盟会高知県協議会
戸梶議長

2 経済建設厚生常任委員会
西川・池田
森下(雅)・横山
森下(芳)
戸梶議長

18 日高村佐川町学校組合議会
戸梶議長・西川

20 森と緑の会総会
戸梶議長

18 仁淀川改修期成同盟会
戸梶議長

3 少年補導育成センター運営協議会
戸梶議長

21 例月現金出納検査
森下(雅)

21 「手づくり郷土賞」認定証授与式
戸梶議長

20 例月現金出納検査
森下(雅)

4 議会運営委員会
野村・藤原
森下(雅)・横山
森下(芳)
戸梶議長

22 福祉館運営協議会
尾崎・山中

22 例月現金出納検査
森下(雅)

28 高知県監査委員研究会
会定期監査
森下(雅)

10/17 日高村議会第2回定例会

25 高知県町村議会議員会臨時総会
戸梶議長

26 臨時会

21 ひだかつこ未来応援協議役員会
戸梶議長

29 総合補助金審査委員会
藤原

30 議会広報発行調査特別委員会
西川・池田・藤原
戸梶議長

1 総務常任委員会
藤原・野村・尾崎
戸梶・山中

10/17 日高村議会第2回定例会

29 総合補助金審査委員会
藤原

12 高幡町村議会議長会総会
戸梶議長

1 日高村振興対策特別委員会
池田・尾崎
森下(雅)・横山
藤原・戸梶議長

10/17 日高村議会第2回定例会

13 高岡郡町村監査委員協議会
森下(雅)

1 治水対策特別委員会
尾崎・森下(雅)
森下(芳)・池田
山中・戸梶議長

10/17 日高村議会第2回定例会

15 日下川改修期成同盟会
全議員

1 治水対策特別委員会
尾崎・森下(雅)
森下(芳)・池田
山中・戸梶議長

10/17 日高村議会第2回定例会

4 ミライエグランドオープン
野村欠席

1 治水対策特別委員会
尾崎・森下(雅)
森下(芳)・池田
山中・戸梶議長

10/17 日高村議会第2回定例会

9 仁淀川改修期成同盟会会計監査
戸梶議長

1 治水対策特別委員会
尾崎・森下(雅)
森下(芳)・池田
山中・戸梶議長

10/17 日高村議会第2回定例会



2020オリンピック聖火リレー
須崎市を走る日高村代表 森本長太郎さん

編集後記

最も苦手とするデジタル化事業が進んでいる。国政では、デジタル庁が設置されることとなり、教育現場では、ギガスクール構想で、小学生からパソコンやタブレットを使いこなし、オンライン授業も受けている。

また議会でもさまざまな資料印刷減のため、全議員にタブレットを配布し、使っている自治体もある。

今回のワクチン接種の予約もパソコンやスマホから申請をする自治体が多く、不慣れな高齢者に見かねて、子どもが予約してくれたとの声が報じられていた。

そのような中、日高村は今回「村まるごとデジタル化事業」でスマホ100%を目指すもあり、スマホの便利さや、もうそろそろとの考えもある。「よう使うろうか」との不安が大きい。

佐川町の80代の方から「日高村はえいね。うらやましい」との声があった。孫の顔もみられるし、とにかく不安だが、勉強してみようかな〜の思いが交差して複雑。そんな自分を一人で笑っている。



雨の中での一斉清掃おつかれさまでした(中村)

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は9月2日(木)午前10時に開会の予定です。

お気軽に傍聴に、お越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 戸梶 章

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。